

MAITSURU PROJECT

INTERVIEW 02

サン株式会社

代表取締役 加藤 ^{きみよし}公慶さん

GOOD POINT

採用してよかったこと

- 県内には働きたい人材がたくさんいることを知れた
- 意欲ある人材と出会えて採用費用もかからない
- 人材と企業がつながることで地域経済の活性化が期待できる



「人材と企業がつながり 地域が成長する好循環を」

スキルより重視するのは 挑戦を楽しめる姿勢

「IT人材の採用では、スキルよりも「新しいことに挑戦する姿勢」を重視しています。講座を受講したからといって、すぐに現場で通用するほどIT業界は甘くありません。しかも、技術の進化が非常に速く、一度覚えた技術も数年で時代遅れになることがあります。常に新しい知識や技術を学び続ける姿勢がなければ、通用しない世界です。モチベーションが高く、新しいことを学ぶのが苦にならない、むしろ楽しめる人を求めています。当社は「社員の幸福を追求する」「安心・安全な社会に貢献する」という理念を掲げています。建設業とIT事業の二本柱だけでなく、群馬県の社会課題を解決するために、耕作放棄地を活用した農業にも取り組んでいます。今後もさまざまな事業に挑



建設業とITの両軸で事業を展開する。

戦していく会社です。自分のスキルを地域や社会のために生かすことにやりがいを感じられる人を求めています。

講座の受講そのものが チャレンジ精神の証明

講座を受講し、やり遂げたという事実そのものがチャレンジ精神の証だと思っています。企業交流会に参加し、さらに自ら面接希望のメールを送ってくるという行動力も評価しました。当社は会社規模を拡大している最中で、IT専門人材だけでなく、自社のDX化を推進するための事務スタッフも必要としています。そこで令和7年度は応募者の中から、モチベーションが特に高いと感じた令和6年度の受講生3名を採用しました。

採用後は3カ月の試用期間を設け、IT開発、営業事務、総務事務など、建設作業以外のすべての部署を経験してもらいました。その後、本人の意向を聞き、希望部署に配属しました。本人の意思を尊重したことで、それぞれが自分で選んだ部署でやりがいを持って働けていると思います。

3名とも明るく前向きで、会社の雰囲気はどんどん良くなりました。採用費用もかからず、意欲ある県内の人材と出会える



企業者交流会に参加して受講生との交流を図った。

この取り組みは、企業にとっても非常にメリットがあると思っています。

県内に働きたい人材はいる 仕事を作るのが企業の課題

このプロジェクトを通じて、県内には働きたいのに働けない人材が数多くいることを知りました。求人に関しても募集人数を大幅に上回る応募があり、県内女性の高い就業意欲を実感しています。企業の課題は、採用だけでなく、採用した人材を教育する体制が整っているか、活躍できる場所を作れるかだと考えています。会社の規模を拡大し、より多くの人材を受け入れられる体制を整えて、さらなる地域貢献をしていきたいと考えています。

IT・建設両事業を拡大し 地域課題解決に貢献したい

IT事業は毎年2倍程度の

サン株式会社

事業内容

道路区画線や標識、防護柵の設置工事を軸に、IT事業でシステム開発や建設業DXも推進しています。

所在地

高崎市上小埞町1247-2



ペースで業績が伸びており、今期は建設業の半分程度の規模まで成長しました。近い将来、建設業と同じ規模まで成長させる計画です。建設業側も更なる拡大に向け、未経験者を含め県内人材の積極採用と育成を進めています。

現在も他社と協力しながら、地域の魅力を生かした事業を進めているところです。今回のプロジェクトのような取り組みをもっと多くの県内企業が参加し、そこに働きたい県民が加わることで、地域全体の成長と活性化につながると思っています。

また、プログラミングやAI、クラウド、データベースといった間口が広いスキルを講座で取り上げてもらえば、受講生は、さらにITリテラシーが上がると思っています。今後は、そのようなプロジェクトの推進にも期待しています。